

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		千客万来・アクティブ商店街事業				整理番号	136		枝番号				
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	15850		連絡先電話番号	3073		昨年度整理番号	138		
係名				商工係				上位施策名		No			
予算事業名				商店街振興総合対策				コード	15850		魅力ある商店街づくり		45
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区千客万来・アクティブ商店街事業補助金交付要綱 (2) (3)						
	商店街組合、商店会				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				商店会が自ら考え、自らの責任において実施する新たな商店街活性化のための事業計画が、助成目的に適合するか審査会において審査し、承認する。計画事業の詳細を確認した上で補助金を支出し、計画事業が終了したときには実績報告書の提出を義務付けている。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 申請した事業件数				(1) 申請を希望した延べ商店会数に対する申請率									
(2) 申請を希望した延べ商店会数				(代) 事業実施商店会の組織率 (2) (会員数) ÷ (商店数)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		件	4	7	10	2	7	7	28.6			
	活動指標(2)		件	39	11	15	8	10	10	80.0			
	成果指標(1)		%	10	64	67	25	67	67	37.3			
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,260	44,045	61,048	27,602	50,460	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.35	1.88	1.42	1.39	1.20					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	12,262	16,909	12,922	12,649	10,920					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	32,522	60,954	73,970	40,251	61,380					
	単位あたりコスト ÷		円	8,130,500	8,707,714	7,397,000	20,125,500	8,768,571					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	32,522	60,954	73,970	40,251	61,380						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		20.0	活動指標(2)の16年度達成率%		53.3	16年度予算執行率%	45.2				
		5件の計画事業の枠に対し、2件の申請があり、審査の結果、2件を採択した。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度に事業申請予定、また18年度以降に事業を予定している商店会のために、15年度に創設した「商店街アドバイザー派遣」制度等により、本事業の計画策定へ向けての活動を引き続き支援している。											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長引く景気低迷を受け、区内商業活動は引き続き厳しい状況であり、14年度までの3年間で商店数・商店従業者数・年間販売額とも減少している。 区内商店数(か所) 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店従業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37,722 年間販売額(百万円) 平成11年度 1,293,945 14年度 1,218,865
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	1事業1,000万円という事業規模は、大規模商店会でなければ計画化や実施が困難な規模であり、中小商店会にとっても申請しやすい制度にして欲しい。また、計画が採択され、実際に事業を実施した場合、状況の変化により計画補助期間以降の事業の継続性が難しくなる場合がある。
	今後の予測	チェーン店の進出、商店会会員の高齢化、後継者不足等、商業環境の変化により、商店会活動を担うべき人材不足が深刻化しており、商店会の地域コミュニティ活動への影響も懸念される。しかし、一方では、地域住民やNPO等とともに本事業を活用し、商店街と地域とを活性化しようとする動きも高まりつつある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 商店会会員の意識改革を図る契機となっており、商店会が地域に根ざした活性化事業を行うことで、住民に対する商店街の魅力度が高まり、商店街に活力が取り戻されている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 商店会が、NPOや地域団体との協働を推し進め、地域のニーズにあった事業を展開することにより、一層の活性化を図ることができる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 商店会が自ら考え、自由な発想で提案する事業を期待しており、その契機としての補助金であるので、一定の応分負担は定めるべきでない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 補助対象期間経過後の事業継続を視野に入れた上で、コストを最小限に抑えた計画とするよう指導し、また、そうした点を重視して対象計画の採択を行っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由または具体的内容: 区による補助事業であり、補助の執行は行政が自ら行う必要がある(実施事業については、空き店舗を活用したコミュニティスペースの活用などを通じて、商店会と地域住民・団体が協力して地域のイメージづくりを行っている)。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 中小商店会等にも利用しやすいように、また、補助期間終了後の事業継続性が図られるよう、申請方法や補助の規模、商店会への支援のあり方など、制度全体を見直していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 制度の見直し等により、他の商店街活性化施策と目的や対象が重複してくる可能性があるため、本事業に関する改革は、商店街活性化施策全体の改革の動きのなかですすめていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業商店街活性化事業の柱として17年度と同様に継続するが、17年度中に、すでに補助期間が終了した事業について効果や課題の検証を行い、その結果等をもとに、制度の見直しに着手する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		魅力ある商店街づくり助成				整理番号	139		枝番号				
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501		連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	141		
係名				商工係				上位施策名		No			
予算事業名				商店街振興総合対策				コード	15850		魅力ある商店街づくり		45
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		63年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業費補助金交付要綱 (3) 栄来郁新・元気をこぼせ！商店街事業費補助金交付要綱						
	区内商店会など				活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 地域住民が多様なニーズを満たせる暮らしの場とするための商店会の活動に対し、指導・助成を行う。								
	活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 商店街を単なる買物の場から、地域住民が多様なニーズを満たせる暮らしの場とし、商店街の魅力を高め、集客力の向上を図る。								
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 事業対象商店会数 (2)									
				(1) 総商店会数に対する事業対象商店会数の率 (2)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		件	10	10	10	12	6	15	80.0			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	7	7	7	9	4	11	81.8			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	94,569	4,604	24,061	6,586	5,650	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.94	0.62	0.62	0.46					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,542	8,454	5,642	5,642	4,186					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	99,111	13,058	29,703	12,228	9,836					
	単位あたりコスト ÷		円	9,911,100	1,305,800	2,970,300	1,019,000	1,639,333					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	20,050	3,168	18,228	5,778			3,650		
		特定財源計 +		千円	20,050	3,168	18,228	5,778			3,650		
差引:一般財源 -		千円	79,061	9,890	11,475	6,450	6,186						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	120.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	27.4	装飾灯の建替えが、3商店会しかなくこの部分の補助金予算が大幅に未執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度から、装飾灯建設補助金を別の事業項目で歳入することとしたため、事業費が大幅に減となった。あくまで、予算上の事業科目の変更であり、事業に変更はない。											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	各商店会の魅力を高め、集客力を向上させるため本事業を活用している。しかし、長引く景気の低迷等で商店会の衰退傾向は否めない。区内商店数(か所) 昭和63年 9,585 平成11年 6,343 平成14年 5,670 年間販売額(百万円) 昭和63年 1,044,425 平成11年 1,239,945 平成14年 1,218,865
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	商店街の施設整備事業は、商店街活性化のみならず利用者、地域の住民等にも影響をあたえることから、区民の期待・関心がある。
	今後の予測	商店街会員の高齢化・後継者不足、大型店や量販店の進出など商業環境の変化は今後も引き続き、商店街には厳しい状況は続くと考えられる。これにより、地域コミュニティ活動への影響も大きくなる。平成17年4月より商店会加入促進に関する条例が施行され、商店会数の現状維持、商店会会員の増加を目指す。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:施設整備事業助成や、情報化推進事業助成については、商店街をハード面、ソフト面から支援する事業であり、魅力ある商店街づくりへの貢献は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:商店会の自己負担を伴う事業であり、特に施設整備事業は、事業費が大きい事業である。計画的な事業運営のもとに、効率的な補助金の運用が必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:区と都の補助金交付事業。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:区と都の補助金交付事業。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由:区と都の補助金交付事業。 理由または具体的内容:
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 HP開設事業については、新規開設する商店会は概ね終わったのではないかと考える。会員の高齢化等により、ITの活用に興味を示さない会について今後どうするかが検討課題である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 HPについては、商店会の意向を把握して対応を検討するが、商店会によって温度差が大きい。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	施設整備事業の有無で予算の増減が出るが、18年度は大きな整備事業の計画があるため大幅に予算が増える予定である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		元気を出せ商店街事業				整理番号	140		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501	連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	141-2	
係名				商工係				上位施策名		No	
予算事業名				商店街振興総合対策		コード	15850		魅力ある商店街づくり		
事業開始年度				○昭和 ●平成 10年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区元気を出せ商店街事業費補助金交付要綱					
区内商店会及び商店会で構成された連合会						(2) 果尔郁利・元スセロヒヒ：商店街争奪費補助金交付要綱					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				商店会などが実施するイベント事業に対し、必要な補助を行う。 ・補助対象経費100万円以内の事業⇒都2/3以内 ・補助対象経費100万円超の事業 ⇒2/3以内 都1/3 区1/3 限度額:300万円		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
活動指標名(式)				(1) 補助対象イベント数		イベント事業により、商店街の集客力向上を図り、活性化し、魅力ある商店街とする。					
成果指標名(式)				(2)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
				(1) 商店会イベント開催数		(2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	52	74	80	78	81			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件	52	74	80	78	81			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37,085	62,277	96,088	61,829	93,348	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.53	1.00	1.00	0.73			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	908	4,767	9,100	9,100	6,643			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	37,993	67,044	105,188	70,929	99,991			
	単位あたりコスト ÷		円	730,635	906,000	1,314,850	909,346	1,234,457			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	37,085	37,976	54,045	36,500			54,824
		特定財源計 +		千円	37,085	37,976	54,045	36,500			54,824
差引:一般財源 -		千円	908	29,068	51,143	34,429	45,167				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	97.5	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	64.3	イベント事業の補助金審査にあたっては、適正に補助金が執行されるよう、対象経費等について都と区が厳格に審査を行うことから、予算額と確定額に差額が出るケースが多い。また、補助金の交付申請後に、イベントを中止する商店会があることも未執行額が出る原因である。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			毎年イベント事業を行う商店会と、行わない商店会が分かれてきている。毎年行う商店会については、同じ内容のイベントを続ける場合が多いことから、事業の効果を検証しより有効なイベントの実施を説明会等の中で呼びかけるとともに、都の事業と合わせて優秀なイベントの事例を広報していく。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	①各商店会の魅力を高め、集客力を向上させるため本事業を活用している。しかし、長引く景気の低迷等で商店会の衰退傾向は否めない。②区内商店数(か所) 昭和63年 9,585→平成11年 6,343→平成14年 5,670 ③年間販売額(百万円) 昭和63年 1,044,425→平成11年1,239,945→平成14年 1,218,865
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	申請・報告に関する書類を簡素化してほしい。
	今後の予測	イベント事業に対する補助金の需要は高い。しかし、事業を実施するための費用や会員等の労力に対する実際の活性化の効果を考えると、このままの傾向で長期的に需要があるかは不明である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: イベントを行うことで、一定の集客アップにつながることは事実である。一時的にでも商店街の活性化になっている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 費用の面では十分な補助であると考えられる。 理由または具体的内容: 補助金の活用主体は商店会であることから、補助金が有効に活用され、費用対効果が上がるよう、商店会と連携を密にする。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 区と都の補助金交付事業。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 都の間接補助事業(新・元気を出せ!商店街事業)と連携しており、区単独で事業変更・改革していくことは困難である。引き続き各商店会で有効に補助金を活用できるよう、都と区と商店会で情報交換等を積極的に行い連携を密にしていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 (1)に同じ。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 15年度から1商店会2事業まで補助金を受けられることになったが、大幅に件数は増えていない。厳しい商業環境の中、新たにイベントを展開できる商店会は少ないと考えられることから、今後も急激に申請件数が増えることはない予測される。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯への助成				整理番号	144		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	51501	連絡先電話番号	3075		昨年度整理番号	145	
係名 商工係					上位施策名				No		
予算事業名 商店街装飾灯助成					コード	16900		魅力ある商店街づくり			45
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例 (2) 杉並区民有灯の整備等に関する条例施行規則 (3)						
	装飾灯、アーチ等を維持管理している商店会				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の商店街に建設された装飾灯の維持管理経費(電気料、美化費、修繕費)に対し、その費用の一部助成を行う。				商店会が負担している装飾灯維持管理経費のうち、装飾灯を維持し道路に必要な照度を保つための費用(交通安全・防犯等の役割分)を助成することにより、活力と賑わいのある商店街としての基盤を強化する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 電気料助成商店会数				(1) (代)電気料助成率(助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)							
(2) 維持管理費助成商店会数				(2) (代)維持管理費助成率(助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	126	125	125	123	122	122	100.8	
	活動指標(2)		件	128	126	126	118	122	122	96.7	
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,487	28,995	30,422	28,820	45,444	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.55	0.76	0.55	0.54	0.55			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,996	6,835	5,005	4,914	5,005			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	34,483	35,830	35,427	33,734	50,449			
	単位あたりコスト ÷		円	273,675	286,640	283,416	274,260	413,516			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	34,483	35,830	35,427	33,734	50,449				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	98.4	活動指標(2)の16年度達成率%	93.7	16年度予算執行率%	94.7			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			装飾灯の電気料について、平成16年度までは、区有灯の設置基準に準じて、装飾灯が設置されている道路延長に対し、30メートルで除した数を助成対象数の基本としていたが、商店会によって助成率の格差が大きくなっていったため、平成17年度から全灯を助成対象とした。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長引く景気低迷を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き厳しい状況であり、14年度までの3年間で商店数・商店従業者数・年間販売額とも減少している。また、商店会数はわずかながら減少傾向にある。 区内商店数(か所) 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店従業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37,722 年間販売額(百万円) 平成11年度 1,293,945 14年度 1,218,865
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	装飾灯のポールの塗り替えや移設費用など様々な維持管理費用に対しても助成して欲しい。また、商店街のアーケードやアーチの照明に対しても助成を増額して欲しい。
	今後の予測	すでにほとんどの商店会は装飾灯を建設済みであるが、商店会を取り巻く厳しい環境の中、装飾灯の建替えができず老朽化が進んでいるところが多くなっており、保守経費が増大していくことが考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 商店街装飾灯の維持のために商店会に対して助成することは、商店会の発展に寄与するとともに、安全・安心の街づくりに貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 毎年度、対象となる全ての商店会に対して助成をしているため。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区で助成単価を決めており、それ以外の経費は商店会が負担している。財政状況が厳しい商店会に対してさらなる負担を求めることはできない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 商店街振興・交通安全・防犯上、装飾灯は重要であり、適正に助成をしていることからコストを下げる余地はない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 区の助成事業であるため。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 商店会がより装飾灯を維持しやすいように、引き続き助成内容の充実を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 安全・安心の街づくりの観点から、商店会が装飾灯を維持しやすいように制度の充実を図るとともに、電気料・修繕費・美化費の助成基準の見直しの検討を行い、商店会の負担の軽減を図る。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯建設助成				整理番号	145		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501	連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	146	
係名				商工係				上位施策名		No	
予算事業名				商店街装飾灯助成		コード	16900		魅力ある商店街づくり		45
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例 (2) 杉並区民有灯の整備等に関する条例施行規則 (3)				
	商店会等										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
区有灯の代替として商店会が設置する装飾灯の新設や建替え等に係る建設費用の一部を助成する。				道路に必要な照度を維持し、歩行者の安全を確保するとともに、商店街の賑わいを演出する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 装飾灯建設助成基数				(1) 装飾灯総本数に対する助成本数の率							
(2) 装飾灯建設助成対象商店会数				(2) 商店会総数に対する助成対象商店会数の率							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		基	62	11	37	40	100	300	13.3	
	活動指標(2)		件	5	1	4	3	4	12	25.0	
	成果指標(1)		%	2	1	1	1	1			
	成果指標(2)		%	3	1	3	2	3			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,626	1,733	12,395	4,971	50,250	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.35	0.29	0.36	0.35	0.38			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,179	2,608	3,276	3,185	3,458			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	15,805	4,341	15,671	8,156	53,708			
	単位あたりコスト ÷		円	254,919	394,636	423,541	203,900	537,080			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							25,125
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			25,125
差引:一般財源 -		千円	15,805	4,341	15,671	8,156	28,583				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	108.1	活動指標(2)の16年度達成率%	75.0	16年度予算執行率%	40.1	建設費の1/3が商店会の負担となり、負担金額が大きいため、財政力に余裕のない商店会については、修繕・メンテナンスをまめに行い、建替えを行う商店会が増えない状況で、助成金の支出が押さえられている。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			平成16年度までは、区有灯の設置基準に準じて、装飾灯が設置されている道路延長に対し、30メートルで除した数を助成対象数の基本としていたが、商店会によって助成率の格差が大きくなっていったため、17年度から、30メートルの距離基準を撤廃し、建設費用の2/3以内を助成対象とした。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長引く景気低迷を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き厳しい状況であり、14年度までの3年間で商店数・商店従業者数・年間販売額とも減少している。また、商店会数はわずかながら減少傾向にある。 区内商店数(か所) 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店従業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37,722 年間販売額(百万円) 平成11年度 1,293,945 14年度 1,218,865
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ポールの塗り替え、基礎部分の補修、移設等、現在は助成対象外となっている。そのため、装飾灯に関して大きな金額がかかる事業に対しての助成制度が欲しい。
	今後の予測	17年度から建設費用の2/3を助成対象とすることで、商店会の自己負担が軽くなることから、需要が増加すると考えられる。反面、厳しい商店会の財政状況や、装飾灯の品質向上による耐久年数の向上、さらにカラー舗装や防犯カメラ等の整備を行うなど、商店会の集客方法の多様化により装飾灯整備が減ることも考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 商店街への集客力の増だけではなく、利用者、通行人の安全にも寄与している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 17年度から補助対象の拡大。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 都と区の補助金交付事業。
協働等の現状	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 都と区の補助金交付事業。
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	理由: 区と都の補助金交付事業。
	協働等の相手	理由または具体的内容:
	協働等の形態	理由または具体的内容:
協働等のあるべき姿	(6) 協働等の相手	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	協働等の形態	今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度に建設費用の2/3以内を助成対象にしたことは大きな改正であり、この改正による商店会の反応を検証し、今後の事業展開を検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 長引く景気の低迷等による、商店街の集客、売上げ状況の落ち込みによる、商店会の財政状況の悪化。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	17年度に建設費用の2/3以内を助成対象にしたことによる需要件数の動向を検証し、18年度の予算を検討する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		産業・観光まつり補助				整理番号	147		枝番号			
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503		連絡先電話番号	051503		昨年度整理番号	148	
係名		アニメ・新産業係				上位施策名			No			
予算事業名		産業・観光振興		コード	17100		魅力ある商店街づくり			45		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		47 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第232条の2							
	阿佐谷七夕まつり(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会) 東京高円寺阿波おどり(主催:東京阿波踊り振興協会)		(2) 杉並区観光事業補助金交付要綱									
	阿佐谷七夕まつり(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会) 東京高円寺阿波おどり(主催:東京阿波踊り振興協会)		(3)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
事業経費の一部補助(金額・各イベントともに100万円)		観光事業に要する経費の一部を補助することにより、地元産業の振興を図るとともに、区のイベントから都を代表する全国的なイベントとしてさらなる発展を目指す。										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 事務経費補助団体数		(1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり										
(2) 助成事業関連商店街数		(2) 観客動員数 東京高円寺阿波おどり										
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	団体	2	2	2	2	2	2	100.0			
	活動指標(2)	団体	4	4	4	4	4	4	100.0			
	成果指標(1)	万人	70	70	70	70	70	70	100.0			
	成果指標(2)	万人	100	120	120	120	120	120	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,000	3,987	2,000	3,500	3,500	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費	千円										
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.15	0.20	0.16	0.10	0.10					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,362	1,799	1,456	910			910		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	3,362	5,786	3,456	4,410	4,410					
	単位あたりコスト ÷	円	1,681,000	2,893,000	1,728,000	2,205,000	2,205,000					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	3,362	5,786	3,456	4,410	4,410					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の16年度達成率%	100.0		活動指標(2)の16年度達成率%	100.0		16年度予算執行率%	175.0				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	いずれも販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、都を代表するイベントのひとつとなった。七夕まつりについて、飾りつけは一時の華やかさに欠けるが、集客力は引き続き高い。高円寺阿波おどりは観光化しているが、地元商店街の販売額の伸びには結びついていない。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	七夕まつりについて、飾り付けのリサイクルを配慮すべきである。高円寺阿波おどり大会について、ごみ、騒音、交通など、住民の苦情が多い。
	今後の予測	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: いずれのイベントも区内だけではなく、東京都を代表する祭りに発展し、観光・産業の発展に寄与している。特に七夕祭りについては商店街も活性化している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 主催者、関係機関との協議の中で、観光事業としての成果向上はある程度可能。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: いずれも観光への補助事業であるので、受益者負担の概念になじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 観光事業助成としては現状が適切だが、安全で環境に配慮したイベントを実現するためには、さらに費用面での検討が必要である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 主催団体を始め、警察、消防、などイベントに関わる他の団体との部分的な協働は実現している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 阿波おどりについては、東京高円寺阿波おどり振興協会がNPO法人化した事もあり、今後は特に保安、警備、環境面に関して総合的に連携していけるよう、自主的な活動を一層促す必要がある。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各所管と情報を共有する場をもうけ、区として統一的な対応ができるよう環境を整備する。また、主催者、関係機関と協議し、保安、環境面の整備を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 イベントの規模に対し、主催者の組織体制が脆弱である。区としては主催者に最大限の自助努力を促し、区と主催団体の役割分担を明確にするとともに、適切な助言、指導を行う。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区内商業振興の観点からの補助としては現状が適当である。ただし、今後祭りを観光資源としてPRしていくためには今まで以上の安全の確保、地域住民の生活への配慮など、主催団体を始めとするイベント実施体制の整備を行う必要がある。そのため、イベントの安全実施などについての経費補助等について検討する。